



旧ソ連抑留中死亡者の遺骨伝達について

旧ソ連抑留中死亡者埋葬地から御帰還された御遺骨について、本県在住の御遺族の申請に基づく DNA 鑑定の結果、親族関係が存在するとの結論が得られ、御遺骨の身元が特定されたため、御遺族に対し御遺骨を伝達します。

1 旧ソ連抑留中死亡者

- (1) 氏 名 岡野 昇藏（おかの しょうぞう）
- (2) 生年月日 大正 14 年 7 月 14 日
- (3) 本 籍 地 長野県長野市
- (4) 所属部隊 歩兵第 285 連隊
- (5) 階 級 上等兵
- (6) 死亡年月日 昭和 20 年 8 月 14 日
- (7) 死亡場所 間島省 汪清県

2 遺骨受領者

- (1) 氏 名 岡野 和夫（おかの かずお）
- (2) 続 柄 甥

3 伝達日時等

- (1) 日 時 平成 30 年 11 月 15 日（木）午後 1 時半頃
- (2) 場 所 遺骨受領者宅

4 特定に至った経緯

旧ソ連政府等提供資料と厚生労働省保管資料を照合調査した結果、故岡野昇藏様がロシア連邦ハバロフスク地方「第 1 収容所第 2 支部第 310 病院」埋葬地に埋葬されていることを確認。政府派遣の遺骨収集帰還団は平成 28 年 9 月 4 日から 9 月 20 日、平成 29 年 7 月 4 日から 7 月 18 日までの間、同埋葬地において 54 柱の御遺骨を収容しました。

このうち、DNA 鑑定用の検体が採取できた 54 柱と DNA 鑑定を希望する本県在住の御遺族との間で鑑定を実施した結果、収容された御遺骨 1 柱から、その御遺族と親族関係が存在するとの結論が得られ、故岡野昇藏様の御遺骨と判明しました。

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン 2.0（長野県総合 5 か年計画）推進中



信州あいサポート
運動推進中！



【ヘルプマーク】

健康福祉部地域福祉課自立支援・援護係
（課長）町田 直樹 （担当）本山 聖一
電 話 026-235-7094（直通）
026-232-0111（代表）内線 2320
F A X 026-235-7172
E-mail chiiki-fukushi@pref.nagano.lg.jp

(参考)

1 旧ソ連及びモンゴル地域の遺骨収容の状況

厚生労働省によると、旧ソ連及びモンゴル地域においては、先の大戦後に約 57 万 5 千人（帰還者からの聞き取りによる推計）が抑留され、約 5 万 5 千人が抑留中に死亡しました。

平成 3 年度からは旧ソ連地域で、平成 6 年度からはモンゴル地域で抑留中死亡者についての御遺骨の収集が可能になり、同省では埋葬地の特定や御遺骨の収容の実施に努めており、平成 30 年 9 月末現在で 20,190 柱の御遺骨を収容しました。

2 戦没者の御遺骨の遺族への伝達状況

国費による DNA 鑑定は平成 15 年度から導入され、本県における遺骨伝達状況は今回を含め次のとおりです。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
柱	—	1	2	3	3	10	1	—

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
—	1	2	1	1	3	—	1	29